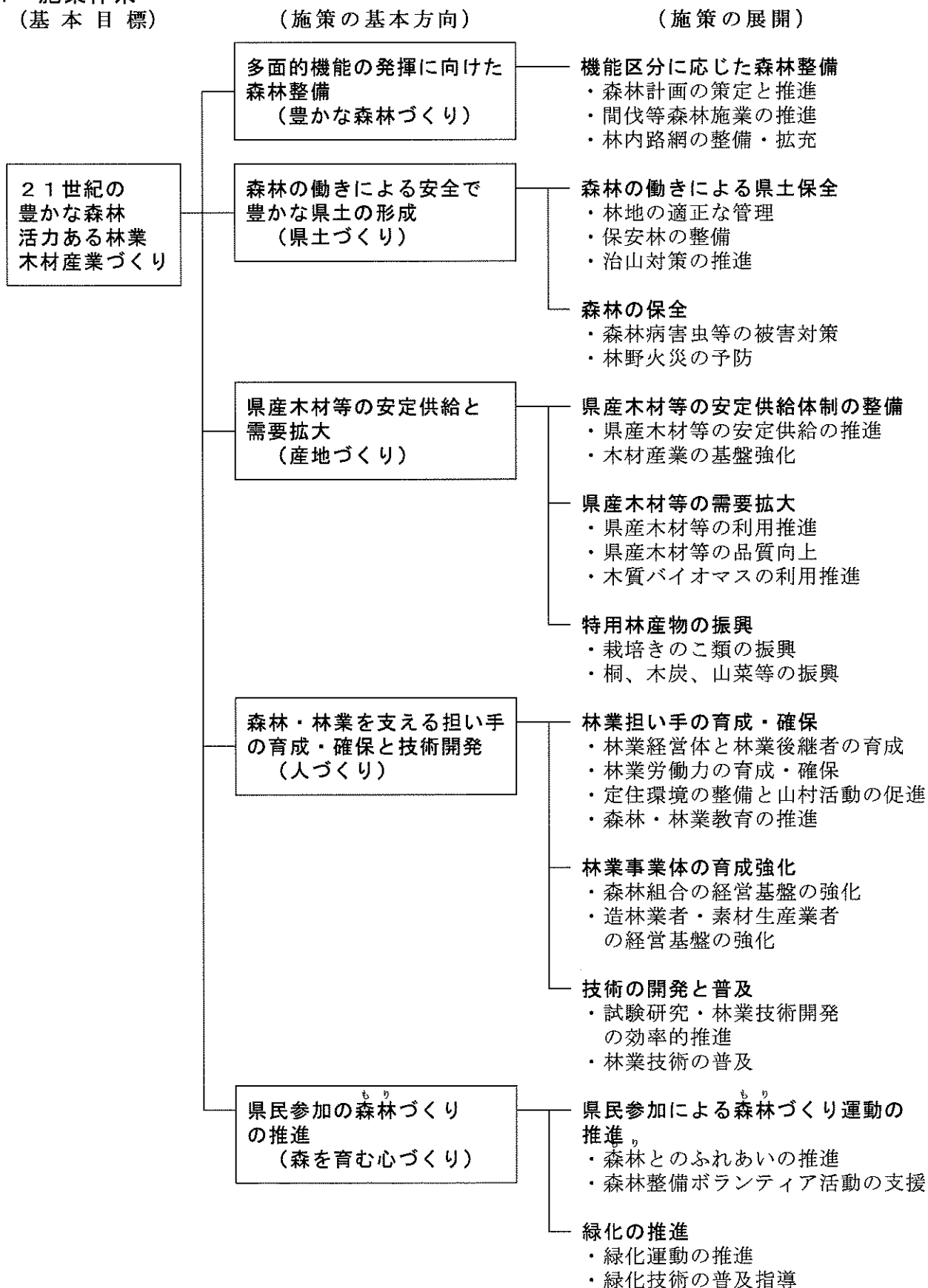


## 「うつくしま森林・林業・木材産業振興プラン21」の施策体系と施策の展開

平成16年度 森林計画グループ

### 1 施策体系 (基本目標)



## 2 施策の展開

重点	: 全庁重点事業
部重点	: 農林水産部重点事業
重点推進分野	: 重点推進分野事業
	※平成16年度重点推進分野
	①命・人格・人権の尊重、②循環型社会の形成、③個性豊かな地域づくりの推進、④その他

### (1) 多面的機能の発揮に向けた森林整備

- ・多面的機能を発揮するための望ましい森林の姿を示し、これに導くための森林施業（長伐期施業への転換、複層林への誘導、広葉樹林の整備など）の推進を図るとともに、推進基盤となる林道の計画的な整備に努める。
- ・県民一人一人が森林づくりに参画する新たな枠組みを構築するための森林づくりのあり方を検討する。

○ 公益的機能の高い森林〔水土保持林〕を重点的に推進
森林整備面積（うち間伐面積）
（水土保持林） H22 10,350ha/年(3,740ha/年) 比率(H22/12) 106%(137%)
（資源の循環利用林） H22 2,900ha/年(660ha/年) 比率(H22/12) 100%(100%)
造林補助事業（公共） (H16 1,294,300千円)
○ 山村地域等の活性化のため、集落周辺の景観形成を促す里山林の再生支援
うつくしま里山林再生モデル事業 部重点(H16 2,100千円)
○ 森林整備地域活動支援交付金を有効に活用して、森林整備の確保
森林整備地域活動支援交付金事業 重点(H16 203,767千円)
○ 県民一人一人が森林づくりに参画する新たな枠組みの構築を検討
うつくしま「森林との共生」創造事業 重点推進分野(H16 10,809千円)

### (2) 森林の働きによる安全で豊かな県土の形成

- ・県民生活に身近な森林の乱開発防止等適正な管理を推進し、保全上重要な森林については保安林に指定するとともに、森林の働きが低下した保安林については、治山事業などの実施により機能の回復に努める。
- ・森くい虫など森林病害虫の被害防止、林野火災の発生防止に努める。

○ 計画的な保安林指定の推進と保安林の適正管理
保安林面積（累計）
H22 109,100ha 比率(H22/12) 104%
森林保全管理事業 (H16 9,028千円)
保安林整備委託費 (H16 4,388千円)
保安林整備管理事業 (H16 29,878千円)
○ 緊急性等を考慮しながら計画的な治山事業の実施
治山事業（公共） (H16 4,344,300千円)
○ 森くい虫等森林病害虫による被害の防止
森林病害虫等防除事業 部重点(H16 285,075千円)

(3) 県産木材等の安定供給と需要拡大

- ・地産地消の連携の下、県産木材の利用推進に努めるとともに、加工技術及び商品開発と新たな需要の開拓、木質バイオマスの利用促進に努める。
- ・特用林産物（栽培きのご類、桐、木炭等）については、国際競争力のある産地づくりを目指す。

○ 県産木材の利用を推進するため関係者の連携による木造住宅供給体制の整備

（ 木材（素材）の供給量（うち県産木材（素材）の供給量）  
 H22 1,680千m<sup>3</sup>/年(910千m<sup>3</sup>/年) 比率(H22/12) 110%(120%) ）

木材安定供給事業	部重点
（ふくしま県産木材供給システム整備事業	(H16 2,581千円)
（(新)とってお木」利用推進業	(H16 2,250千円)
間伐材搬出利用支援事業	部重点(H16 17,290千円)

○ 公共施設の木造化・木質化の推進

（ 木材（素材）の需要量（県産木材（素材）の需要量）  
 H22 1,470千m<sup>3</sup>/年(700千m<sup>3</sup>/年) 比率(H22/12) 110%(120%) ）

木の香る環境整備促進事業	
（木とふれあう学舎づくり推進事業	重点推進分野(H16 12,750千円)

○ 木質バイオマスの活用など研究機関と連携した新たな需要拡大

(新)木質バイオマス利用推進事業	重点(H16 17,645千円)
------------------	------------------

○ ハイテクプラザ等と連携した木材加工の新技術の開発

県産針葉樹材の住宅内外装材及び家具部材等への活用のための機能性付与技術の開発	(H16 43,458千円)
--	----------------

○ 競争力のある特用林産物の産地づくりの推進

（ 栽培きのご類生産量  
 H22 8,023t/年 比率(H22/12) 139% ）

特用林産振興対策事業	部重点
((新)安全・安心な県産きのご供給推進事業	(H16 712千円)
(しいたけ生産体制整備緊急対策事業	(H16 18,318千円)
(うつくしま炭の里づくり推進事業	(H16 2,355千円)

(4) 森林・林業を支える担い手の育成・確保と技術開発

- ・経営の規模拡大・多角化や優れた経営感覚を持ったリーダーの育成を図るとともに、林業労働者の雇用者である林業事業体の体質強化を図る。
- ・林業生産と生活の場である山村地域の定住環境の整備を図る。
- ・多様な森林の造成、育成・管理技術、特用林産物の優良品種育成などの研究開発を行い、これら技術の円滑な定着を推進する。

○ 林業後継者の育成・確保のため福利厚生充実、技術研修の実施

( 林業就業者数  
H22 2,070人 比率(H22/12) 90% )

(新)緑の雇用担い手育成対策事業	重点推進分野(H16)	42,540千円)
------------------	-------------	-----------

森林整備担い手対策基金事業 (新規就業者フォローアップ事業	重点推進分野(H16)	788千円)
----------------------------------	-------------	--------

○ 地域の振興と定住環境の改善を図る生活基盤の整備

ふるさと林道緊急整備事業	(H16)	2,226,000千円)
--------------	-------	--------------

森林居住環境整備事業	(H16)	1,778,550千円)
------------	-------	--------------

○ 県民ニーズに即した林業技術の研究開発

育林経営、緑化保全、特用林産、木材利用研究	(H16)	7,913千円)
-----------------------	-------	----------

林業技術普及情報活動システム化事業	(H16)	3,858千円)
-------------------	-------	----------

(5) 森林づくりの推進

- ・「森林との共生」の具現化を進めるため、「県民の森」をはじめとする森林とのふれあいの場の整備拡充や普及啓発活動に努める。
- ・県民参加による緑化活動と森林づくり運動の支援拡充を図り、森林を県民全体で支える意識の醸成と森林づくりへの参加を促進する。

○ 県民参加による森林整備ボランティア活動の支援

( 森林とのふれあい施設の利用者数  
H22 509,000人 比率(H22/12) 107%  
森林整備ボランティア参加者数  
H22 33,000人 比率(H22/12) 2,965% )

森林とのふれあい施設管理事業	(H16)	116,695千円)
うつくしま21森林づくり推進事業	重点 (H16)	10,970千円)

○ 「もりの案内人」の指導者の養成・確保

( もりの案内人認定者数  
H22 425人 比率(H22/12) 342% )

森林総合利用対策事業 (もりの案内人養成事業	(H16)	2,141千円)
---------------------------	-------	----------

○ 緑の募金運動の推進、緑の少年団活動の推進

総合緑化対策事業 (「緑の輪」推進事業	(H16)	1,180千円)
------------------------	-------	----------

○ 緑化に関する質問、相談に対応する「緑の相談室」の充実

グリーン・アドバイザーセンター開設事業	(H16)	10,107千円)
---------------------	-------	-----------

○ 樹木医会等との連携による「緑の文化財」の保全活動など緑化技術の普及

( 緑の文化財の登録状況 H14現在 520カ所  
樹木医認定者数(財)日本緑化センター認定 H15現在 28名 )

緑総合緑化対策事業 (緑の文化財保全対策事業	(H16)	2,400千円)
(緑の文化財樹勢診断事業	(H16)	5,097千円)